

R8 県総体バスケットボール競技 大会運営について（共通理解）

1. 会場での対策

- (1)フロアー入り口の扉、体育館出入口のドアなどは解放して換気をし、各種感染症リスク低下を図る。
- (2)水道にハンドソープを設置し、衛生管理を図る。
- (3)ゴミは、個人での持ち帰りを原則とする。(自動販売機での購入も含め、体育館のゴミ箱を使用しない)
- (4)入り口で必ず消毒をし、その後も手洗い・手指の消毒をこまめに行うよう呼びかける。
- (5)個人用のハンカチ・タオル・スクイズボトル等を持参する。それらの共用は厳禁とする。

2. 顧問・役員の先生

- (1) 各地区の協力で試合会場は準備されているが、追加の準備が必要になった場合は、第1試合のチーム(含 TO チーム)生徒と顧問は協力する。片付けや清掃は最終試合で会場に残っているチームで行う。
- (2)チームが提出するもの及び受け取るもの

	提出物	大会事務局から受け取るもの
地区総体後速やかに	パンフレットデータ (様式は県バスケ協会 HP の中体連ページにあります。) 送信先→清原中学校の小原先生まで (kiyo-j@ueis.ed.jp)	
代表者会議 (スリッパ持参)	①参加申込書 ②外部指導者申請・トレーナー申請 ③パンフレット代 (@200×エントリー人数) ④施設会場使用料 ¥2,000-	領収証 ※②の申請は登用するチームのみ
大会初日	会場主任にエントリー変更 (該当チームのみ) ※2日目以降は認めない。	パンフレット (本部にて受け取り)

- (3)フロアーでの朝の打ち合わせは行わないので、感染防止対策等の注意事項は、各校にて生徒・保護者に事前に周知徹底を図る。
- (4)ベンチ内の短パン、スウェットパンツの着用は不可とする。【関東大会も同様です】
フロアー内 (チームベンチ向かい側の役員席等) も短パンは認める。スウェットは不可。

3. 選手・応援生徒

- (1)全部員入館可とする。マスクの着用は個人の判断とする。(マスク着脱の強要はしない。)
- (2)自チームの試合の1試合前の試合開始時間を目安に入館する。(極端に早く来ないようにする。)
第1試合のチームと第1試合 TO 担当チームは、開館時間に入館可能。
- (3)各チームは指定された座席エリア (校名表示あり) で試合を観戦したり待機をしたりする。
- (4)応援生徒 (ベンチエントリー外生徒) は、自チームの試合時には入れ替え制の応援エリアに移動する。
- (5) TO は基本的に負けチームが行う。(最終日の TO は、TO 部で手配できない場合は、ベスト4チームで割り振る。)
- (6)試合中の生徒各自の荷物 (ビニール袋に入れた靴含む) について
 - ① エントリー内の生徒→試合を行う自チームベンチエリアの後ろに置く。
 - ② エントリー外の生徒→応援エリアの各自の足元に置く。
 - ③ TO 生徒→TO 席の後ろに置く。※荷物は整然と並べることが望ましい。観客席に荷物を置いたままにはしない。
- (7)円陣や「DEFENCE!! パンパン DEFENCE!!」のような声を揃えての応援は行ってもよいが、対戦相手が不快に感じるような行動や言葉は慎むこと。フリースロー時に故意に音を出して妨害する行為を行わないこと。ベンチにおけるペットボトル、メガホン、太鼓等の鳴り物の使用を禁止とする。
また、フロアを踏み鳴らすような行為やうちわを叩いての応援も不可とする。
- (8)応援エリアや観客席での声出し応援は可とする。
- (9)試合後のベンチや観客席の消毒は、各チームで行う。除菌スプレーやシート等をチームで準備。
- (10)館内での食事は可。(入り口付近など、各アリーナで飲食不可となっているエリアでは不可)

(11)チームベンチで水分を補給する際は、スクイズボトル**または**水筒を使用すること。

4. 保護者について

- (1)自チームの試合開始時間を目安に入館する。フロアーには入らない。
- (2)選手や役員の動線となっているため、フロアー入り口付近や**役員控室及び審判控室付近**に行くことはしない。
- (3)入館する保護者は、**所属チームを明確にするために**、各中学校で使用している「保護者証」を首から下げること。(**学校で使用する保護者証が無い場合は、部活動で準備する。**)
- (4)自チームの試合時には入れ替え制の応援エリアに移動する。試合中、フラッシュ機能を使っての写真撮影は行わないこと。
- (5)自チームの試合観戦後は速やかに応援エリアから出る。(入れ替え制)。
- (6)自チームの試合以外の観戦等で会場内に待機してもよい。
- (7)フロアー内での個人及び集合写真撮影は行わない。(大会業務遅延につながるため)
- (8)保護者の携帯電話を会場内で生徒に貸し出したり、生徒本人の携帯電話を会場内で生徒に渡したりはしない。
- (9)応援エリアや観客席での声出し応援は可とする。

5. その他

- (1) 管理職等の学校関係者は室内シューズを持参し、職員証を首から下げること。また、チーム関係者及び大会役員も必ずJBAのIDか職員証を首から下げること。
- (2)ベンチエリア及び観客席のチーム応援エリアからのビデオ撮影や写真撮影は可(ただしフラッシュ撮影は不可)とする。その際、次の事項を遵守すること。
 - ・動画サイトやSNSへの転載は禁止する。
 - ・映り込んだ他者に対して非難するコメントや、チームや大会の社会的評価を損なわせるような投稿は行わないこと。
 - ・生徒がタブレット端末等で撮影する場合は、顧問教諭が使用について十分に指導し、管理すること。(自チームの試合以外の時に、生徒がタブレット端末等を使用させないようにする。)
 - ・**無人状態でのビデオカメラ設置は行わない。(盗難、破損の際の責任を大会本部で負えないため)**
- (3)審判について、下記以外の内容は審判長の指示に従う。
 - ・レフリーマスクおよびホイッスルカバーは不要(使用については個人の判断)
 - ・JBAのIDカードは携行する
- (4)エントリーメンバーのソックス→シャツおよびパンツと異なる色であっても良いが、全てのメンバーのソックスの主となる色が同じ色でなければならない。**(ソックスの色が異なる選手については、関東大会同様、同じ色のソックスへの履き替えを求める措置を取る。)**
また、**サポーターやコンプレッションウエア等の色もチームで揃えなければならない。**
例) 同チームに所属する選手Aのひざサポーターが黒、選手の腕サポーターが白は不可。
- (5)「2026 バasketボール競技規則」を適用する。
- (6)チームスタッフおよびエントリーメンバーが違反行為により退場処分となった場合は、本専門部より当該者への指導を行う。(栃木県バスケットボール協会と協議の上進める。)
- (7)栃木県バスケットボール協会の指針を示した「バスケットボール10ヶ条」(パンフレットに記載予定)を大会前に部員および保護者に配付し(印刷は各中学校で行う)、周知徹底を図る。関係者の理解を深めることで、魅力あるバスケットボールの環境づくりを推進する。
- (8)役員席及び大会本部席からチームへの戦術的な指示は送らない。
- (9)同日に2試合を戦うチーム(男子の第4試合・第6試合)については、そのチームの1試合目終了後から1時間20分のインターバルの措置を取る。**2日目の第5試合と最終日の第3試合と第4試合は、両コートでの試合開始時間を合わせる。**
- (10)最終日は、女子の最終試合後と男子の最終試合後に、それぞれ本部席前にて表彰を行う。